

バッジ等の取組について



メールはseikatsu@asahi.comへ

バッジ広がる BABY in ME



自立できないでいる妊婦初期。周囲に知らず知らず一人の女性がデザインしたマーク「BABY・in・ME」が、共感する人たちの手で広がっている。北海道釧路市ではステッカーをつけたタクシーが走

り、東京都内のコンビニエンスストアの窓口でもバッジが贈られるようになった。誕生から半年、バッジは町を方面に広がった。マークは、横浜市のフリーライター村松純子さん(41)が、「具合が悪くても、おなかが大きくなっても、優先席に座るの白の目を見わけて」等という友人の言葉を聞いてデザインした。08年にホームページを開き、ステッカーもバッジの頒布

しるべきさきりけなくわかって—— 持ちたいのは優しい気持ち

ママニティーバッジのデザイン「授乳中」を村松純子(41)が東京で



http://www.baby-in-me.com

を始めた。「広めたかったのはバッジではなく、街角で優しい気持ちを届けてほしい」と村松さん。女性たちの感謝の声に加え、予想以上に多かったのは、「配りたい」という人たちがからみこんだ。釧路市のNPO「くしろ酒造」の役員は「フリーの街に役に立ってほしい」と(柴田千鶴事務局長)と考

えた。03年からステッカーやバッジなどを購入し、地元のタクシー600台に張りめぐらし、市を通じて母子手帳と一緒に妊婦に配っている。札幌市の会社に勤める伊藤好修さん(31)は、「ボスターを張りたい」と申し出て、1月にボスターミチル市の施設で80枚を張った。2年前、妻がバッジを利用した。「次世代のために自分でできることをしたくなかった」といふ。

(平成17年3月11日朝日新聞)

日時計

▽…体調はしんどいけれど見た目にわかりにくく、なかなか周囲に気付いてもらえない。そんな妊婦初期の「ママ」たちを応援しよう。東京都武蔵野市は、バックなどに付けるストラップを配り始めた。

▽…妊婦をかたどった「インスト」に「I am Mom」の文字を添えて、そのひたひたに妊婦の図え、乗り物の優先席に座りやすくなる効果などを期待する。マークは非営利組織(NPO)「チャイルド&ファミリー・フレンドリー・コンソーシアム」が提案。ペネッセコーポレーションもマークの付録のストラップで同じマークを採用している。

▽…TPO3年がら独自のマークで同様の試みをしている。京都市では、「自立つよに身に付ける人はまだ少ないが、いざというときのお守り」を思いついて、妊婦中に限らず、体調が悪いときは誰でもいたわってほしいもの。だが、マークでアピールしないと、配慮できない風潮の裏返しだと利組織(NPO)「チャイルド&ファミリー・フレンドリー・コンソーシアム」が提案。ペネッセコーポレーションもマークの付録のストラップで同じマークを採用している。

しんどい思いに気付いて

(平成17年5月19日日本経済新聞)



チャイルド・ファミリー・フレンドリー・コンソーシアムの例



京都市の例